

保 護 者 様

桜すくすく保育園
園長 前田 章子

登園届について

感染症に罹った時は、主治医から感染の危険が無く、健康回復状態が集団での保育園生活が可能になったと診断されるまで登園を見合わせてください。

この処置はお子さんに十分な休養を与え早期に治癒させるためと、他の園児への感染を防ぐためのものです。

登園の際は裏面の表を参考に

・第1種の場合：医師による治癒証明書

・第2種、第3種の場合：下記の《登園届》をコピーし、保護者が記入したものを提出してください。

登園届

令和 年 月 日

桜すくすく保育園
園長 前田章子様

組 園児氏名： _____

今回 病名「 _____ 」の為、欠席しましたが、
月 日 医療機関名「 _____ 」において、病状が回復し
集団生活に支障がないと判断されましたので登園届を提出いたします。

※ 欠席期間 月 日 () ~ 月 日 ()

保護者氏名： _____ ㊟

登園時に届け出が必要な感染症一覧

※厚生労働省感染症対策ガイドラインより

分類	病名	潜伏期間	主要症状	登園のめやす	
第1種	(注)			治癒するまで	
第2種	麻疹 (はしか)	7~18日	発熱、鼻汁、結膜炎症状、発疹	解熱後3日を経過してから	
	百日咳	10~14日	咳発作 (夜間に強い)	特有な咳が消失してから、又は5日間の適正な抗菌薬による治療を終了してから	
	インフルエンザ	1~4日	突然の高熱、呼吸器症状、関節痛、筋肉痛	発症した後5日を経過し、かつ解熱後3日を経過してから	
	風疹 (3日はしか)	14~23日	発熱、発疹、リンパ節腫脹	発疹がなくなるまで	
	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	12~25日	発熱、有痛性唾液腺腫脹	耳下腺の腫れが発現してから5日を経過し、かつ全身状態が良好になってから	
	水痘 (水ぼうそう)	10~21日	水疱を伴う発疹	すべての発疹がかさぶたになってから	
	咽頭結膜熱 (アデノウイルス・プール熱)	2~14日	発熱、咽頭痛、結膜炎症状	主な症状が消え2日経過してから あるいは、伝染のおそれがないと認められてから	
	結核 (胸膜炎なども含む)		発熱、咳、呼吸困難	医師の診断により感染のおそれがないと認められてから	
	髄膜炎菌性髄膜炎		頭痛、嘔吐、意識障害	医師の診断により感染のおそれがないと認められてから	
第3種	腸管出血性大腸菌感染症 (O-157 など)	1~8日	激しい腹痛、頻回の水様便、血便	症状が治まり、かつ抗菌薬による治療が終了し、検便によって陰性が確認されてから	
	流行性角結膜炎 (流行り目)	2~14日	流涙、眼脂、結膜充血	医師の診断により感染のおそれがないと認められてから	
	急性出血性結膜炎	1~3日	結膜出血		
	その他の感染症	溶連菌感染症	2~5日	発熱、咽頭痛、嘔吐	抗菌薬内服後24~48時間を経て、全身状態が良ければ登園可能
		手足口病	3~6日	水疱性の発疹が口腔内及び四肢末端に出現	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事が摂れること
		ヘルパンギーナ	3~6日	発熱、口腔内潰瘍、咽頭痛	
		伝染性紅斑 (リンゴ病)	4~21日	軽い風邪症状、頬の紅斑、手足に網目状の紅斑	発疹のみで全身状態が良ければ登園可能
		ウイルス性胃腸炎 (ノロ、ロタ等)	1~3日	嘔気、嘔吐、下痢、発熱	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事が摂れること
		RSウイルス感染症	2~8日	発熱、鼻汁、咳、喘鳴、呼吸困難	呼吸器症状が消失し、全身状態が良好になってから
		マイコプラズマ感染症	1~4週間	発熱、頭痛、しつこい咳	発熱や激しい咳が治まっていること
突発性発疹		約10日	発熱、解熱後の発疹	解熱し全身状態が良くなってから	
帯状疱疹	不定	小水疱の片側性出現、掻痒感、刺激痛	すべての発疹がかさぶたになってから		

(注) エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎 (ポリオ)、コレラ、細菌性赤痢、ジフテリア、腸チフス、パラチフス